



広川町長 西岡 利記

# 新春

## あけまして

### おめでとうございます

### 稲むらの火と笑顔のある

### いきいきとしたまち広川

広川町民の皆さまに心より新春のお慶びを申し上げます。

今年一年が、皆さまにとって健康で安全・安心の心安らかな年となるよう、ご祈念申し上げます。

新年を迎え、「安全・安心のまちづくり」・「教育のまちづくり」・「活気のあるまちづくり」

ナウイルス感染症の影響が私たちの日常生活と経済に深刻な影響を及ぼしています。

感染拡大を防ぐため、本町におきましても計画しております。多くの行事や催しが中止となったことは残念でなりません。しかしながら、令和2年11月8日、梧陵翁生誕200年を記念し、二階俊博自由民主党幹事長、仁坂吉伸和歌山県知事はじめとする多くの来賓を招き、稲むらの火の館にて「濱口梧陵翁生誕200年記念植樹式」を執り行いました。

植樹後、来賓の方々と梧陵翁のお墓をお参りをさせて頂きました。江戸時代の末期に発生したコレラから人々を守るために関寛齋らの医師とともに防疫活動に尽力した梧陵翁の逸話が脳裏をよぎりました。今こそ、広川町長としてコロナ禍の難局に怯むこと無く立ち向かい、町民の皆様とともに明るく、希望に満ちた町づくりに邁進することを梧陵翁の墓前に誓った次第でございます。

さて、新年の令和3年、広川町におきましては楽しみな年になるかと思えます。

待望久しい「観光・地域交流センター(通称:いなむらの杜)」が1月末に完成し、4月末のゴールデンウィーク前にオープンする予定です。

その愛称も町内小中学校児童・生徒達からの応募と選定で「いなむらの杜(もり)」と決定をしました。我が町のレジエンドである梧陵翁にまつわる「稲むら」に由来することは感慨深いものがあります。

町民の皆様には是非ともオープンングセレモニーにお出でいただき、直接「いなむらの杜」をご披露させて頂いただければと思います。その日、その場所で皆様にお会いできることが今から待ち遠しくなりません。

本町の新たな賑わいスポットとして整備をし、日本遺産を有する湯浅町との広域観光エリアとして、まちの賑わい“の拠点になることが期待されている「稲むらの火の館周辺整備」も関係各位のご協力とご努力の下、順調に進んでございます。

特に火の館とともに地域の新たなランドマークとしてその役

割を担うであろう「物産販売飲食施設」も令和2年6月17日の起工式を経て令和3年中の開業を目指して急ピッチで整備をしてございます。

本町においてライフラインの整備と充実は、快適で安全な生活には不可欠であり、行政の果たすべき使命であると心得ています。継続実施をしている広川簡易水道整備事業は、現在上野地内に新たな水道事務所と上水道に必要な機器整備、配水池築造工事、唐尾マリンアクセス道路等への送水管布設が行われ、令和3年4月から「新たなまちづくり」の基礎固めのための新たなライフライン事業がスタートします。

「令和3年」という年は、種々時き、水をやり育んだこれらの事業がついに花開く年であり、「明るい未来への飛躍」という無限の可能性を秘めた年でもあります。

その無限の可能性を最大限に引き出すべく私を始め町職員一同、引き続き全力で取り組んでまいりますので、町民の皆様にはなおい層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



広川町議会議長 奥 忠信

## 始まりの第一歩 さらなる飛躍を

明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお健やかに迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃は町議会に對しまして、格別のご支援とご協力を賜っておりましてことに、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行により、東京オリンピック・パラリンピックが延期となり、本町においても濱口梧陵翁生誕200年記念事業が縮小されるなど、行動が大きく制限され、経済活動にも多くの影響が出ております。

また、コロナ禍のなかで発生した7月豪雨や台風により、大きな災害が各地で発生し、多くの尊い人命と財産が奪われました。自然災害とコロナとの複合災害に対する準備の足りなさ、より実効性のある避難対策の必要性を痛感いたしました。

犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様とコロナによる影響を受けられました皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

また、日夜奮闘されている医療関係者の皆様に心からの感謝と敬意を表しますとともに、一日も早い事態の終息と皆様の健康をお祈り申し上げます。

町民の皆様には、命を守る生活様式を心がけていただくようお願いいたします。

さて、令和3年の本町においては、新たなまちの賑わいの拠点として、図書コーナーを有する観光・地域交流センター「いなむらの杜」や稲むらの火の館周辺整備では物産販売・飲食施設と広場などがオープンする予定で、周辺の道路も整備されます。さらなる飛躍を目指して、新たな始まりの第一歩と期待しております。

しかしながら、わが町を取り巻く環境は厳しく、高齢化問題、人口減少問題などに加えて、新型コロナウイルス感染症の終息時期が見通せないなか、社会・経済状況の予測は非常に困難な状況で、多額の財政支出を余儀なくされる一方で、税収は大きく落ち込むことが懸念されています。

そうした中にありましても、様々な行政課題に對し、何がより重要かを見極めながら、町政の発展と町民の皆様の負託に応えるべく、私たち議員一同一丸となって全力で取り組んで参りたいと決意を新たにいたしました。

引き続き皆様方のご支援、ご協力をいただけますようお願い申し上げます。

結びに、本年が町民皆様にとりまして、健やかで幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。